



見沼のほとり

第 9 号
令和6年12月2日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

自分たちに何ができるかを考えよう

校長 金子 慎一郎

師走の声が聞こえ始め令和6年もあと少しの時期となりました。本年度の重点目標の一つに社会との繋がりと行動力の育成を挙げています。地域との積極的な交流を通して、地域に信頼され、愛される学校づくりを進めており、ボランティア活動にも参加する生徒が増加しています。

先日、本校の前を流れる芝川の清掃活動をされている「SDGsさいたま応援団」の方々と河川敷の清掃活動をさせて頂きました。本校の生徒5人とSDGsさいたま応援団の7人で、砂橋～鷲山橋までの間を移動しながらゴミの回収を行いました。集めたゴミを「ペットボトル」、「プラ容器」、「瓶類・缶類」等13種類に分別し数を集計しました。その数1010個にも及ぶ数のゴミを回収し分別処理をしました。特にペットボトル、容器包装プラスチック、空き缶などは、本来資源物としてリサイクルされるはずのが、泥まみれになり、リサイクルには不向きと判断し、燃えるゴミと燃えないゴミに分類し収集業者に渡されました。



今回の収集でプラスチック系のゴミが全体の82.9%にも及び、このゴミがそのまま河川を経由して海へと流れつき、マイクロプラスチックとなった場合、生態系に与える影響は大きいものになります。今回の活動を通して、参加した生徒はゴミの多さに戸惑いながら、一緒に活動をした方々と会話を通して自分たちにできることは何かについて学んでくれました。春ごろにも活動が行われますので、参加できる生徒は行動してみてください。

ところで、11月20日(水)に2学年主任の柳先生が研究授業を公開してくださいました。来校者の中には、さいたま市内の先生方や芝浦工業大学の学生も参加して、柳先生の授業の進め方や生徒の様子を参観していました。参観した方々からは、「生徒主体の授業編成であり、生徒も積極的に普段の授業から指導の仕方が工夫されているのだろうと感じました。」という意見もあり、土呂中生の学習に対する姿勢が評価されたと思います。

さて、2年生はこれから館岩自然の教室があり、各クラスでの取組が行われています。それぞれの係活動やルールの確認など、集団で宿泊する場合の大切な準備です。自分たちで意見を出し合い、主体的に実行していくことで集団生活が楽しく有意義な時間となりますので生徒の皆さんは頑張ってください。また、1年生も1月17日(金)に校外学習を予定しています。1年生も実行委員会を中心に活発な意見交換を期待します。最後に3年生。いよいよ受験が近づいてきました。面接練習でも話していますが、志願理由がはっきりしないと勉強にも力が入りません。どうしてその学校に入学したいのか。その学校で「どんなことを学んで」「やってみたいことは何か」をしっかりと言えるようになりますように。目標に向かって頑張るためのエネルギーになりますから。